

第2回総長選考・監察会議議事要旨

1. 開催日時：令和5年6月23日（金）14：00～15：25
2. 方法：オンライン会議（Zoom）
3. 出席者：国谷、国土、小林、佐藤、高橋、板東、山本、須田、山内、島野、廣井、杉山、兵藤 各委員
4. 陪席者：吉田監事、棚橋監事
5. 議題
 - 1 総長の賞与に係る職務実績評価について
 - 2 中間評価に向けた方向性について
 - 3 その他
6. 配付資料
 - 1 - 1 令和5年度総長の賞与に係る職務実績評価スケジュール・イメージ（案）
 - 1 - 2 総長の賞与に係る職務実績評価の評価視点（案）
 - 1 - 3 総長の賞与に係る職務実績評価の実施について（通知）（案）
 - 1 - 4 総長の賞与に係る職務実績自己評価書（案）
 - 1 - 5 総長の賞与に係る職務実績の評価について（令和4年3月24日 総長選考会議）
 - 2 中間評価に向けた方向性について
 - 3 東京大学総長選考・監察会議議長所信表明（議長就任にあたって）
 - 4 第1回総長選考・監察会議議事要旨（案）
7. 参考資料
 - 1 （令和4年度）総長の賞与に係る職務実績評価の実施について
8. 議事
 - 1 総長の賞与に係る職務実績評価について
議題1について、事務局から、配付資料1-1から1-5に基づいて、説明があった。次いで、議長代行から、総長選考・監察会議学内ワーキング・グループの検討内容について説明があり、意見交換が行われ、出席委員から、概ね以下の意見があった。
 - ・配付資料1-4の2の問いの順序について、UTokyo Compassは新しい大学モデル構想と国際卓越研究大学制度への申請の関係に対する総長の構想を確認するために（2）を初めに伺い、続いて賞与の評価という性質を補完するため（1）及び（3）について伺うとするのはどうか。
 - ・「どのようにお考えになったか」という表現は、質問の意図が分かりにくいため、「どのような方針を指し示したか」とするのはいいか。

- ・構成員への構想の周知共有について、具体的なアクションとしてどのようなことが行われたかが分かるか評価しやすいのではないか。
- ・自己評価書に添付する根拠を示す資料について、数値で表せるものばかりではないため、どの程度提示していただくかをあらかじめ決めておいた方がよい。
- ・自己評価書の文章表現についてももう少し検討した方がよいのではないか。

意見交換の結果、各委員の意見を踏まえ、職務実績評価に係る資料の修正を行うことが確認され、議長から、修正について議長に一任する旨提案があり、了承された。

2 中間評価に向けた方向性について

議題2について、議長代行から、配付資料2に基づいて、中間評価の方向性に係る総長選考・監察会議学内ワーキング・グループでの検討結果について報告があり、次いで、意見交換が行われた。意見交換の後、議長から、中間評価の方向性について配付資料2のとおりとすることについて賛否が諮られ、出席委員から異議はなく、了承された。

3 その他

議長から、配付資料3に基づいて、本学ホームページ内の総長選考・監察会議ページに所信表明を公表したことについて、報告があった。

以上